

保証書 GUARANTEE	
製品番号(製品名)	8RD209
※お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1年
お客様	名前 ----- 住所
TEL.	- -
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)	
(Y1801)	※印の項目は、販売店記入

取扱説明書 デジタル温度・湿度計(時計付き)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。
当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

禁止 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 止まったらすぐに電池を取り外す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

電池、製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。

保証について

取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参くだされば、修理可能な場合は、無償で修理致します。ただし、商品の状態によっては、現品交換または同等品のもとと交換させていただきます。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

- 本保証書は再発行しません。
- 本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本保証書は日本国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00(土日祝日および当社休日を除く)

お問い合わせの際は、製品番号「8RD209」をお伝えください。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
修理用性能部品(電子回路)は製造打ち切り後、5年間を基準に保有しています。商品の状態によっては、現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無償保証期間が過ぎても、性能部品保有期間中は、原則として有償修理または新品との交換が可能です。修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気の影響により、表示が欠けたり、正常に機能しなかったりします。このようなときはリセットを押してください。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意報は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度・湿度の証明など商取引に使用することはできません。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと	時計機能	クオーツ方式
液晶表示可読温度範囲	0～40℃	時刻表示	12時間表示
電池	単4形アルカリ乾電池 JIS LR03 1.5V 2個	時間精度	平均月差 ±30秒
電池寿命	約1年(※1)		(温度5～35℃において)
温度表示範囲	-9.9～50℃	カレンダー	2013～2099年まで
測定精度	±1℃(温度表示範囲内)	防水機能	なし
湿度表示範囲	20～90%RH 温度が5～50℃のとき(※2)		
測定精度	温度が20～25℃のとき 60%RH ±3%RH 60%RHを除く20～90%RHでは ±4%RH		
温湿度測定間隔	1分に1回		
環境の目安	インフルエンザ、熱中症4段階		
警告音	電子音		
ON/OFF	あり		
音量調節	なし		

(※1) 電池寿命は警告音が鳴らない安定した環境下でのものです。警告音が鳴る頻度が高くなると電池寿命が短くなります。

(※2) 「%RH」は相対湿度の単位。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

○液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。

○液晶は0℃以下の低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなることがあります。また、40℃より高温では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

○温度・湿度センサーは経年変化により精度が低下することがあります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

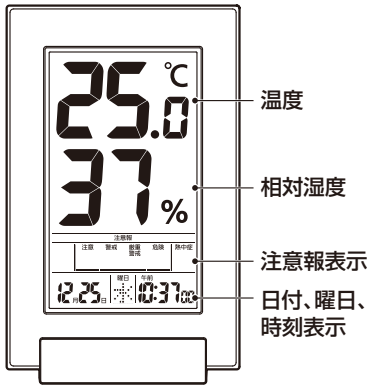
付属品 お試用電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

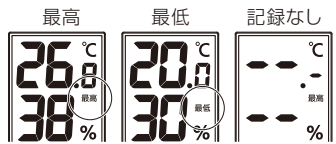
※液晶表示は、見る方向により薄く見えたり、むらに見えます。



操作ボタン

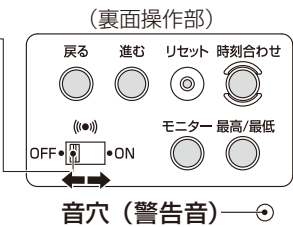
戻る(-) 日時を合わせるときに使用します。
進む(+) 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押します。押すと電子音が鳴り、日時が2013年1月1日午前12:00になります。また、温湿度の最高/最低の記録を新しく開始します。
リセット 日時を合わせるときに使用します。押すと電子音が鳴り、日時が2013年1月1日午前12:00になります。また、温湿度の最高/最低の記録を新しく開始します。

温湿度の最高/最低表示の例



※記録を消した後の約1分間は、記録なしの表示になります。

警告音スイッチ
ONにすると注意報に応じた警告音が定期的に鳴ります。



時刻合わせ 日時を合わせるときに使用します。
最高/最低 温湿度の過去24時間以内の最高と最低を表示。押すたびに最高→最低→現在の順に切り替わる。最高/最低の状態約10秒間放置すると現在の表示に戻ります。2秒以上押し続けると最高/最低の記録を消して、新しく記録を開始します。
モニター 注意報表示と警告音がどのように変わるかを試すときに押します。

使い始めるときまたは電池を交換するとき

1. 電池を入れる

(表示の変化例)

単4形アルカリ乾電池 2個

取り付ける: ↑方向にスライドする。
取り外す: ↓方向にスライドする。

電池ぶたの取り付け、取り外し
取り外す: 全部を押しながら ↓方向にスライドする。
取り付ける: ↑方向にスライドする。

電池をセットしたときとリセットを押したときに電子音が鳴ります。

- 電池ぶたを取り外す
- 電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて2個入れる
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の発熱、破裂、液漏れの原因になります。
- リセットを爪楊枝などの細い棒で押す
誤作動防止のため、電池を入れた直後に押ししてください。6~7秒後に温度・湿度を表示します。
※リセットを押すと2013年1月1日午前12:00になります。
- 電池ぶたを取り付ける

2. 日時を合わせる

年、月、日、時刻(時・分)でのボタン操作

数値を進むまたは戻るボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押します。

ボタン 押しすぐ離す 押し続ける

進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し

(操作例)

設定対象の数値が点滅します。

①② 西暦年
③月 ④日 ⑤時 ⑥分

- 西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける
- 西暦年を合わせる
- 月を合わせる
- 日を合わせる
- 時を合わせる
午前/午後の表示に注意してください。
- 分を合わせる
※時、分のときに進むまたは戻るボタンを押すと秒が「00」になります。

※時、分のときに進むまたは戻るボタンを押すと秒が「00」になります。

以上で日時の設定が終わりました。

日時設定の自動終了について

設定中に約1分間ボタン操作を中断すると日時の設定を終わります。

電池の交換について

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをご守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

設置

注意 一般的な家庭やオフィスの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 設置する高さによっても温度や湿度が変わります。
- 湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。
- 転倒や落下しないように、水平で安定した所に置いてください。

温度・湿度、注意報(インフルエンザ/熱中症)について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
温度と湿度は1分間隔で測定します。

測定ができないときの表示

温度 「HH.H」 50°Cより高温 「LLL」 -9.9°Cより低温
湿度 「HH」 90%RHを超えている 「LL」 20%RH未満
「--」 測定不能 (温度が5~50°Cの範囲外)

注意報の表示(環境の目安表示)

※表示は発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

注意報の表示例

注意報がないときの表示 インフルエンザが発生しやすい条件になると点滅表示し、**熱中症**が発生しやすい条件になると点滅表示し、**注意すべき度合い**に応じたマークが表示されます。



警告音について

警告音スイッチをONにすると、注意報の状態に応じて警告音が定期的に15秒間鳴ります。OFFにすると警告音は鳴りません。

使用を開始するときに、モニター機能で表示や警告音がどのように変わるか確認してください。

※音量調節や暗くなると自動停止する機能はありません。

インフルエンザマーク点滅: 30分間隔で鳴ります。

熱中症マーク点滅: 注意すべき度合いにより鳴りかたや鳴る間隔が変わります。

- (ゆっくり) ←危険性が高まると鳴りかたが早くなります→(早い)
- 注意 鳴りません ●警戒 30分間隔 ●嚴重警戒 20分間隔 ●危険 10分間隔
- ※注意すべき度合いが変わるときにも警告音が鳴ります。

注意報と警告音のモニター機能

モニターボタンを押し続けると、注意から警戒、嚴重注意、危険、インフルエンザと表示が変わり、それに対応した警告音が鳴ります。モニターボタンを離すと止まります。

日常生活における熱中症予防指針 日本生気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

製品の表示	温度基準(WBGT温度)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
注意 警戒 嚴重警戒 危険	危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
注意 警戒 嚴重警戒 危険	嚴重警戒 (28~31°C)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
注意 警戒 嚴重警戒 危険	警戒 (25~28°C)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 警戒 嚴重警戒 危険	注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(28~31°Cは 28°C以上31°C未満の意味)
上記のWBGTの温度範囲に、測定した温度を直接当てはめることはできません。
WBGT(暑さ指数)は熱中症予防のための指標で、気温、気流、湿度、輻射熱の4要素の組み合わせによる温熱環境を総合的に評価したものです。本製品のWBGTは温度と湿度からの推定値を使用しています。

注意すべき生活活動強度の目安 日本生気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

軽い(3.0 METs 未満)	中等度(3.0-6.5 METs)	強い(6.5 METs 以上)	
休息 談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫い、ミシンかけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車/バス立位) 洗濯	手洗い、洗顔、歯磨き 炊事(料理/かたづけ) 買い物 掃除(電気掃除機) 普通歩行(67m/分) ストレッチング ゲートボール※	自転車(16km/時未満) 庭の草むしり 速歩(95~100m/分) 芝刈り 掃除(はく・ふく) ウォーキング(107m/分) 布団あげおろし 美容体操 体操(強め) ジャズダンス 階段昇降 ゴルフ※ 床磨き 野球※ 洗濯 垣根の刈り込み	ジョギング 登山 サッカー 剣道 テニス 水泳 自転車(約20km/時) バスケットボール リズム体操 縄跳び エアロビクス ランニング(134m/分) 卓球 マラソン バドミントン

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。
◎METs(メッツ)は身体活動の「強さ」を表す単位です。安静時に対して何倍の身体活動に相当するのかが「6.5METs」のように表します。

ひとくちメモ

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。
室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。